

足尾銅山を世界遺産へ

世界遺産国内暫定一覧表への 追加記載を目指して



9月号では、第5回足尾銅山の世界遺産登録推進検討委員会の開催結果と今後の取り組み方をお知らせしました。

今回は、昨年10月17日に足尾公民館で開催したシンポジウムと、その結果を踏まえて開催した検討委員会などについてお知らせします。

世界遺産登録推進シンポジウム

◆産業遺産見学会

見学地 国指定史跡「宇都野火薬庫跡」・小滝地区

午前中に行われた産業遺産見学会には市内外から15名が参加し、国指定史跡「宇都野火薬庫跡」などを見学しました。宇都野火薬庫跡は一般公開されていませんが、所有者である古河機械金属㈱の協力で、特別に公開されました。

◆基調講演

講師 佐藤正知氏（文化庁文化財部記念物課主任文化財調査官）
演題 史跡足尾銅山跡の歴史的意義講演の内容

国指定史跡になることは、ある意味で、世界遺産に登録されるよりも素晴らしいこと。今後は、史跡と

なった産業遺産などの保存や活用策を地域一帯となつて考えていくことで、役割を終えた遺産に新しい機能を与え、将来の地域文化発展の基礎としていくことが大切である。



基調講演の様子

◆パネルディスカッション

市の世界遺産登録推進検討委員会委員長の河東義之氏（小山工業高等専門学校名誉教授）をコーディネーターに、パネルディスカッションを行いました。

跡の追加指定の行い方次第で、今後の近代史跡の指定に大きな影響を与えることになる。

世界遺産登録推進検討委員会

昨年11月26日に、栃木県庁で今年度2回目、また通算で6回目の日光市足尾銅山の世界遺産登録推進検討委員会が開催されました。

その中で委員からは、「現在、史跡は足尾銅山跡として通洞坑と宇都野火薬庫跡の二つしかないが、今後の文化財保護のあり方を考えると、群として一括で指定することが必要である。このような事例はあまり例がなく、足尾でこのような取り組みがされれば、全国でも画期的な取り組みとして評価されるだろう」という意見が出されました。

それらの意見を踏まえながら、今後は、文化財指定を目指す物件の候補とその範囲の選定、文化財申請にあたり参考資料となる調査報告書の作成について、検討することになりました。

文化財指定の状況

◆わたらせ渓谷鐵道（旧足尾鐵道）関連施設が国登録有形文化財に
昨年11月2日に、わたらせ渓谷鐵

テーマ 足尾銅山の産業遺産の保存・活用について

小風秀雅氏（お茶の水女子大学大学院教授）

当面の課題は、文化財指定を早急に進めていくこと。足尾には、国の史跡が通洞坑と宇都野火薬庫跡だけなので、積極的に指定を進め産業遺産の保全を図り、その中で具体的な活用策を検討していくべき。

永井護氏（宇都宮大学工学部教授）

産業遺産については、テーマに沿って保護することが必要。そのために、構成資産を確定させ、それらの古い産業遺産を活用して、新しいものを作り出し、まちづくりに生かしていくべき。

幸崎雅弥氏（古河機械金属㈱執行役員環境保安管理部長）

産業遺産といっても、まったく使っていない施設もあれば、一部もしくは全部稼働中の施設もある。そういった状況であるが、産業遺産の活用については、会社の判断や法的な拘束力を踏まえた中で、最大限協力していきたい。

佐藤正知氏

国の史跡全体が1,600件のうち、近代の史跡が足尾を含めて23件しかないことを考えると、足尾銅山

道沿線の3市（日光市、群馬県みどり市、群馬県桐生市）と栃木、群馬

両県、わたらせ渓谷鐵道㈱が連携を図り協議・手続きを行っていた、わたらせ渓谷鐵道関連施設37件が一括で国有形文化財に登録されました。

市内では、第一松木川橋梁、足尾駅関連施設、通洞駅関連施設、第二渡良瀬川橋梁など、併せて12件が登録されました。この登録を契機に、足尾銅山の世界遺産登録を進めるにあたり、貴重な構成資産の一つであるわたらせ渓谷鐵道関連施設のさらなる保存・活用に取り組んでいきます。



第一松木川橋梁

◆掛水重役役宅が県指定有形文化財に

市では、足尾町掛水地区に現存する掛水重役役宅6棟を文化財として保存・活用するため、県教育委員会へ県指定有形文化財の申請をし、昨年12月18日に、「旧古河鋳業会社足尾銅山掛水重役役宅」として文化財

指定とする旨の答申がされました。

掛水重役役宅とは、明治40年から建設された古河の幹部社員の社宅のことです。特に、鋳業所の所長役宅は、敷地が広く、床面積も100坪を超え、接客用と居住者用の玄関と便所が別に設けられているほか、洋風応接間も設置されています。

明治期に建設された鋳山役宅が、敷地を含めてほぼ創建時の状態で現存している例は、全国的にも極めて珍しく、貴重な住宅建築となっています。現在、一般公開はされていませんが、今後、文化財として保存・活用を図るよう所有者などと協議・検討していきます。



掛水重役役宅

市では今後も、足尾銅山の世界遺産登録を目指し取り組んでいきます。くわしくは

生涯学習課 世界遺産登録推進室

☎（21）5182